



# SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

## 第78回国民スポーツ大会 トライアスロン競技会

会 期:2024年10月6日(日)

会 場:唐津市波戸・名護屋特設会場



主催

公益財団法人日本スポーツ協会  
文部科学省

佐賀県

公益社団法人日本トライアスロン連合  
唐津市

# SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024から、国体の愛称で親しまれてきた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」へ変わります。大会の名称が変わるはじまりの地に選ばれた佐賀県は、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジします。

## リアルアスリート・ピクトプロジェクト

新しい「国民」の「スポーツ」大会だから、みんなで作りたい。そんな思いを込めて制作したピクトグラム。すべて実在するアスリートのシルエットが元になっています。



## 国スポ 総合開会式



10/5 (土)

## SAGAスタジアム

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10

## 国スポ 総合開会式



10/15 (火)

## SAGAアリーナ

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



(公財)日本スポーツ協会(JSPO)は、「スポーツは、もっとオモシロイ。」を掲げ、スポーツが誰にとってもオモシロくなり、幅広い世代でスポーツが身近にある社会の実現を目指す「JAPAN GAMES」構想を推進。JSPOと佐賀県は、連携・協働してスポーツの新たな価値を創造します。

大会HP詳しくはこちら

SAGA 2024



# 目 次

## あ い さ つ

大会会長	遠藤利明	1
文部科学大臣	盛山正仁	2
公益社団法人日本トライアスロン連合会長	岩城光英	3

## 歓 迎 の こ と ば

佐賀県知事	山口祥義	4
唐津市長	峰達郎	5
佐賀県トライアスロン協会会長	川添豊	6

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	7
---------------------	---

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	8
---------------------	---

大会役員	9
------	---

競技会役員	13
-------	----

競技役員	15
------	----

競技補助員・御協力をいただいた皆さま	17
--------------------	----

競技会係員・競技会補助員	17
--------------	----

総 則	18
-----	----

実施要項 トライアスロン競技	37
----------------	----

競技日程	40
------	----

競技説明会	41
-------	----

スタートセレモニー・表彰式	42
---------------	----

参加選手一覧	43
--------	----

過去の成績	44
-------	----

競技の見方	46
-------	----

コース図	47
------	----

会場配置図	51
-------	----

駐 車 場	55
-------	----

交通案内	56
------	----

関係機関連絡先	58
---------	----

広 告	59
-----	----



## あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会

会長 遠藤 利明

国の特別史跡に指定されている「吉野ヶ里遺跡」をはじめとする重要文化財や、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの伝統的行事が根付く、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

スポーツを通じた明るく豊かな国づくりを目指して昭和21(1946)年からスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として発展を遂げ、本年から「国民スポーツ大会」へと名称を変え、新たなスタートを切ります。

今大会は、幅広い世代の人々が、スポーツが身近にある生活を体験出来る社会の実現を目指した「JAPAN GAMES」の取組を本格化し、すべての人に「スポーツの力」を届けることができる大会を目指しております。

スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人、すべての方々がスポーツのオモシロさを体験し、スポーツで日本を元気にする大会となることを願っております。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、より魅力ある持続可能な大会とするため、幅広い分野の皆様に参加いただいた有識者会議を設置しております。

今後、検討を進めるに当たっては、今回の佐賀大会における「JAPAN GAMES」をはじめとする新たな取組の成果も充分活かしていきたいと考えております。

今大会は、当初から1年遅れての開催となりましたが、佐賀県の関係者の皆様をはじめ、開催を控えていた各県の皆様方のご協力なくしては実現できなかったものであり、改めてお礼申し上げます。

結びに、今大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元佐賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



## あいさつ

文 部 科 学 大 臣

盛 山 正 仁

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

佐賀県は玄界灘、有明海という多くの恵みをもたらす2つの海に面し、広大な佐賀平野やラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」「肥前鹿島干潟」等豊かな自然の魅力にあふれ、国の特別史跡である「吉野ヶ里遺跡」や400年以上の歴史を誇る「有田焼」を有する等、歴史と文化が息づく県です。

昭和51年の若楠国体以来48年ぶりの佐賀県での開催となり、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに、エンタメ性の高い式典、ナイトゲームの開催、スポーツホスピタリティ等、スポーツの可能性を追求する「新しい」取組に挑戦し、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、トップアスリートの育成を通じ、県民がスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」というスポーツ文化の裾野拡大を目指し、スポーツのチカラを生かした人づくり、地域づくりを進める「SAGAスポーツピラミッド構想」という「新しい」仕組みも広がっています。国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更後初めての開催にふさわしい、今後のモデルケースとなる魅力的ですばらしい取組となっております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や佐賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

本年はパリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され日本代表選手が大活躍し、国民のスポーツへの関心はますます高まっています。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「SAGA2024国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元佐賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様への御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和6年7月29日

# あ い さ つ



公益社団法人 日本トライアスロン連合  
会長 岩城 光英

日頃からトライアスロン、パラトライアスロンそして関連マルチスポーツの普及と発展にご支援とご協力をいただき、心から御礼を申し上げます。この度「SAGA2024 国スポトライアスロン競技会」が開催されるにあたり、トライアスロンファミリーを代表して、皆様を歓迎申し上げます。

たゆまぬ努力の積み重ねを経て、各都道府県の代表として集まる選手の皆さんは、「日本渚百選」に認定されおります、美しい海と玄界灘の島々を望む、素晴らしい舞台「波戸岬」を中心に開催される本大会を心待ちにしていたことと思います。

同郷の仲間たちと共に、日頃のトレーニングの中で培った練習の成果を十分に発揮し、フェアプレイ精神、大会開催にご尽力いただいている方々への敬意の念を持ちながら、トライアスロンを存分に楽しまれることを期待しています。

私たち競技団体は、「トライアスリートのために」という概念を貫くために、本年（2024年）から米国や欧州のトライアスロン先進国と同様にJTU主催・共催・後援大会に参加するすべての都道府県・学連登録会員向けに「トライアスロン安全保険」を付与することとしました。今後も大会主催者の皆様と連携し、中央競技団体として大会運営の安全度を高めるとともに、参加選手の家族や友人のために安心した環境を届けられるよう努力し、健全な競技普及発展に努めたいと思います。

最後に、開催に向けてご尽力頂いております、ご関係各位の多大なるサポートに深く感謝申し上げます。本大会が、多くの選手に愛され、より地域の振興に貢献できるよう、引き続きのご支援をお願いするとともに、大会の成功を心よりお祈りいたします。

\*トライアスロン安全保険：<https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports/>





## 歓迎のことば

SAGA 2024 実行委員会会長

佐賀県知事 山口 祥義

「すべての人に、スポーツのチカラを。」新しい大会へようこそ。

感動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を超えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがあります。

こうしたスポーツの真の価値を大切にする佐賀県では、「SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想」と銘打ち、アスリートの人生にコミットした人材育成、セカンドキャリア支援やスポーツビジネスの創出を進めて、アスリートが現役時代も引退後も、キャリアを活かして輝き続けることができる社会の実現を目指してきました。

その中で開催する「SAGA 2024」は、スポーツ新時代を多くの方に実感できる大会として、日本に世界標準のスポーツ文化が根付く転機となると確信しています。

「SAGA 2024」トライアスロン競技会、いよいよスタートです。

競技会場は、伝説のダイバー、ジャック・マイヨールが愛した海として知られています。それにちなんで名付けられたドライブコース「ルート・グランブルー」の一部がバイクとランのコースになっています。青く澄んだ海、広い空、そして緑豊かな山々を体感してください。

「SAGA 2024」は”国体”から”国スポ”へと変わる大会です。

競技会では、選手個人にスポットを当てた表彰制度やメダルの授与、ナイトゲームや動画配信により選手の活躍を称え、熱戦をより多くの方に届けます。式典でも新たな演出に取り組みます。総合開会式の自由で楽しさあふれる選手団入場、音と光、映像を最大限に活かした総合閉会式など、大会に関わるすべての人と感動を分かち合います。

選手の皆様には、日々の練習に打ち込んできた情熱と、磨き上げてきた技を、この舞台上で披露していただければ、これ以上の喜びはありません。

佐賀県は、「弥生時代の吉野ヶ里遺跡」、「日本文化が花開いた肥前名護屋城」、「明治維新の礎を築いた偉人の輩出」と三回にわたり日本史転換の舞台となりました。これは「挑戦なくして、伝統なし」のマインドがこの地で培われているからだと考えます。有田焼、佐賀牛、佐賀酒といった文化・食材が世界で高い評価を受けていることもその証です。スポーツの世界も例外ではありません。佐賀県は、先人達の積み重ねに想いを馳せながら、新たな挑戦を続けていきます。

スポーツ新時代の幕が上がる、その瞬間を一緒に体感できることを嬉しく思うとともに、開催にあたり、多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

## 歓迎のことば



SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会会長

唐津市長 峰 達 郎

第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」トライアスロン競技が、ここ唐津市において盛大に開催できますことは誠に光栄です。

市民を代表して、全国各地からお越しいただいた選手・監督並びに関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

「国体」の愛称で親しまれた「国民体育大会」は、今回の第78回大会から「国民スポーツ大会（国スポ）」へと生まれ変わり、佐賀県は新たな「はじまりの地」となります。

ここ、唐津市は、約430年前に太閤豊臣秀吉が大坂城に次ぐ規模で「肥前名護屋城」を築き、全国から名だたる戦国武将たちが参集し、能や茶の湯を楽しむなど、今につながる文化や交流が生まれた「はじまりの地」として語り継がれています。

歴史や文化が息づくここ唐津市で、群雄割拠しながら全国の都道府県代表選手の皆様が、日ごろの鍛錬とたゆまぬ努力の成果を十分に発揮され、熱い戦いを繰り広げていただき、競技を「する人」「観る人」「支える人」、すべての人にスポーツのチカラが届く、新しい大会となることを期待しております。

本市では、トライアスロン競技をはじめとする正式競技6競技、公開競技1競技、デモンストラーションスポーツ3競技を行います。

大会期間中は本市を訪れるすべての皆様に、市民一体となり心のこもったおもてなしでお迎えできるよう準備を進めてまいりました。

また、本市は、特別名勝「虹の松原」や特別史跡「肥前名護屋城並びに陣跡」、「唐津城」、伝統工芸の「唐津焼」、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんちの曳山行事」など、風光明媚なロケーションと多くの歴史や文化を有しています。

あわせて、「呼子のイカ」や「佐賀牛」など新鮮な海の幸、山の幸も豊富に取りそろえておりますので、本大会をとおして唐津市のさまざまな魅力を十分に感じていただき、「自然・歴史・食の宝庫 からつ」を満喫していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、選手の皆さまのご健闘を祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

## あ い さ つ



### 佐賀県トライアスロン協会 会 長 川 添 豊

国民スポーツ大会として新たに歴史の1ページを刻むことになったトライアスロン競技に全国各地から佐賀県へお越しいただき心から歓迎と感謝を申し上げます。

昨年は、同時期にリハーサル大会と全国高等学校選手権を計画し、準備を進めていましたが、開催当日に雷雨となり競技会を中止しなければなりませんでした。

今年もリハーサルなしで同様の時期に競技会を開催することとなりましたが、唐津市をはじめ、地元の皆様、JTU・九州ブロック協議会など関係各所にたくさんのご協力をいただきましたことをご報告し、重ねて関係各位に心よりお礼申し上げます。

唐津市名護屋は、玄界灘を望む風光明媚なところです。四百数十年前には、豊臣秀吉が朝鮮出兵(文禄・慶長の役)の拠点として名護屋城を築き、全国の大名が集結し、20万人を超える大都市となった所です。今でも多くの陣跡が残され、国の特別史跡に指定されています。

皆さんには、日本の西の最果ての地で織りなされた歴史、文化また自然の中で繰り広げられた物語に触れて頂くとともにスタート地点にあるサザエのつぼ焼きなどの食も堪能していただければと思います。

コースは、玄界灘から遠く壱岐・対馬まで見渡せる素晴らしい景観となっています。また、バイクコース、ランコースとも起伏が厳しく選手の方々には、日頃の練習の成果を試す絶好の機会でもあります。

特に上りが好きなトライアスリートには、挑戦のしがいもあり、フィニッシュした時には、これまでに感じたことのない達成感が得られることと確信します。

この地に集まっていたいただいた選手の方々はもちろん、運営に携わったすべての皆様が、大会の完結まで最善を尽くし、『SAGA最高!』と言える大会を皆さんで作っていきましょう。大会に先立ち歓迎の挨拶とさせていただきます。

『SAGA最高!』



天皇杯

皇后杯

## 国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

**第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

**第2条** 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

**第3条** 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

**第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

**附 則** 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改訂

令和6年1月1日一部改訂



大会会長トロフィー

## 国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

**第1条** 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

**第2条** 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

**第3条** 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 責任をもって保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

**第4条** 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

**附 則** 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

# 大会役員

2024年7月31日現在  
(順不同・敬称略)

名誉会長	盛山正仁				
会長	遠藤利明				
副会長	越川均	坂元要	益子直美	森岡裕策	
	室伏広治	山口祥義			
顧問	伊藤雅俊	森善朗	安西孝之	岡崎助一	
	大野敬三	山本浩	岩田史昭	池田めぐみ	
	今井純子	今浦千信	上島しのぶ	鹿島丈博	
	勝田隆	角屋憲正	刈谷好孝	工藤保子	
	國吉富美子	高井志保	高野瑞洋	田畑綾美	
	靈池恵量	東瀬義人	坂東美紀	松井守	
	丸山由美	室伏由佳	山倉紀子	山下泰裕	
	草野満代	藤田裕司	森井じゅん	室城信之	
	金子日出澄	湯川和之	若月等	土橋登志久	
	石丸元国	石川伸男	坂巻義男	鬼頭有紀子	
	長谷川洋子	吉田長寿	齋木尚子	多賀恒雄	
	安藤淳	上治丈太郎	湧永寛仁	上原絵美	
	佐藤健司	馬場美香	山口宏	南和文	
	宮永美寿津	千田健一	中里壮也	岡本友章	
	大野淳	加藤出	田村恒彦	蒔田実	
	山崎勝洋	眞下昇	山口徹正	田中伸周	
	村田利衛	建部彰弘	市野保己	丸石博	
	中村ゆり子	齋藤良太郎	谷田部和彦	木村博美	
	井上弘	今川啓一	近藤重和	池谷正成	
	大澤明美	古城資久	小野賢二	園山和夫	
	中山俊行	衣笠剛	知念かおる	出口弘之	
	田邊哲人	城門政文	前川恵	上杉晃央	
	布村幸彦	茂野直久	生島典明	大沢陽子	
	谷藤節雄	熊谷幸一	千葉玲佳	奥山雅信	
	穂本哲哉	藤田知巳	石松英昭	田子昌之	
	久保正美	山崎成夫	塩見清仁	田中不二夫	
	井出仁	今西博一	中村宏平	松本智広	
	森山喜博	南部則雄	福永秀樹	高橋繁浩	
	河口端子	増田和伯	中嶋実	山本誠三	

松本恭幸	船田一彦	奥田晃	横尾英治
近藤一幸	小寺洋	河村祐一	渡邊浩三
田中稔	馬越祐希	青木章泰	城戸英敏
旗生康之	小柳勝彦	辛木秀子	宮成康藏
藤本格	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
大河原嘉朗	川上隆弘	佐藤廣子	奈良隆
小菅司	宇津木妙子	菊幸一	小林久美
寺澤正孝	山口純子	あべ俊子	今枝宗一郎
本田顕子	安江伸夫	藤原章夫	矢野和彦
西條正明	寺門成真	尾縣貢	鈴木大地
田嶋幸三	山西健一郎	坂田東一	三須和泰
内田貞信	川合俊一	藤田直志	三屋裕子
富山英明	馬場益弘	砂岡良治	金丸恭文
橋本聖子	安道光二	河田正也	千玄室
中村真一	三宅豊	村井満	松丸喜一郎
網代忠宏	土田雅人	丸誠一郎	福田達夫
世耕弘成	笹川堯	番匠幸一郎	不老安正
久保素子	北川薫	岩城光英	清野智
石井良之	加藤勝信	荒川裕生	柏木清士
達増拓也	鶴田有司	吉村美栄子	北村清
大井川和彦	福田富一	遠藤祐司	大野元裕
熊谷俊人	山本博	岡田伸浩	花角英世
新田八朗	馳浩	杉本達治	高野剛
阿部守一	田口義隆	中谷多加二	大村秀章
向井弘光	河本英典	西脇隆俊	牧野明次
齋藤元彦	池田誠也	岸本周平	林昭男
丸山達也	越宗孝昌	苧田知英	村岡嗣政
柿内慎市	楨田實	大塚岩男	服部誠太郎
大石賢吾	甲斐隆博	麻生益直	春山豪志
塩田康一	玉城デニー	原口一博	岩田和親
大串博志	古川康	福岡資麿	山下雄平
大江場芳博	甲斐直美	奥田律雄	井上伸一
江里口秀次	田島健一	山口弘展	

参	与	橋 場 健	大 杉 住 子	西久保 弘 克	留 守 茂 幸
		武 藤 明 美	木 原 奉 文	徳 光 清 孝	藤 崎 輝 樹
		江 口 善 紀	古 賀 陽 三	中 本 正 一	一ノ瀬 裕 子
		青 木 一 功	木 村 雄 一	富 田 幸 樹	田 中 秀 和
		桃 崎 祐 介	酒 井 幸 盛	指 山 清 範	中 村 圭 一
		下 田 寛	野 田 勝 人	岡 口 重 文	弘 川 貴 紀
		猪 村 利 恵子	石 丸 太 郎	土 井 敏 行	坂 口 祐 樹
		藤 木 卓 一 郎	池 田 正 恭	石 井 秀 夫	八 谷 克 幸
		古 川 裕 紀	宮 原 真 一	古 賀 和 浩	原 田 寿 雄
		石 倉 秀 郷	定 松 一 生	落 合 裕 二	南 里 隆
		牟 田 清 敬	加 藤 雅 世 子	飯 盛 清 彦	飯 盛 裕 介
		荒 木 薫	長 村 順 也	愛 野 時 興	岩 瀬 豊 美
		末 次 康 裕	陣 内 芳 博	野 田 亮	吉 松 幸 宏
		深 草 光 明	竹 田 敬 道	廣 重 昭 博	吉 田 聖
		中 村 直 人	峰 英 太 郎	園 田 耕 太 郎	大 島 信 之
		西久保 敏	川 寄 和 正	志 田 正 典	南 里 玲 子
		平 川 幸 雄	松 田 孝	大 竹 義 治	牛 島 英 人
		谷 政 司	吉 田 彰 友	山 口 七 重	内 田 伸 也
		秀 島 寛	小 松 政		
委 員 長		山 本 浩			
副 委 員 長		岩 田 史 昭	日 比 謙 一 郎	宮 原 耕 史	
総 務 委 員		川 原 貴	菅 原 哲 朗	ヨーク セッターランド	二 宮 智 浩
		加 藤 光 国	松 田 基 子	松 永 敬 子	三ヶ田 礼 一
		森 丘 保 典	守 屋 志 保	辻 睦 弘	廣 田 暢 実
		宮 野 欣 也	樋 口 和 彦	出 崎 和 夫	宇 野 武
		野 口 友 里	加 藤 弘 和	小 澤 大 樹	塚 原 弘 幸
		森 岡 貴 之			

委員

平野了	高橋聖一	吉村政弘	松本康夫
能村卓	栗原崇	細野光史	小泉芳孝
佐久間裕司	品田奥義	濱野勉	寺澤淳
黒川重男	舟喜信生	高野修	中梶秀則
安藤正美	加藤憲二	宮川良輔	鈴木章広
川口巖	和田潔	岡泉茂	田口大祐
平井宏治	岸川剛之	西原斗司男	菅原正幸
高橋昇	長南哲生	衛藤敬輔	渡辺久雄
三井千壽	鈴木信吾	山中博史	井本亘
関根明子	中山二三男	越前浩司	吉田由美子
杉本好二	東野真理子	田中徹	川口雅三
金子和裕	品治恵子	富澤佑也	小竹純太
政岡航大	小河原百映	田口雅紀	吉丸尚宏
宇田俊太郎	西口卓司	鈴木宏幸	宮村元忠
高階匡平	松井直樹	坂本雄大	鈴木清
見田茂樹	大泉定幸	金丸利博	高橋直史
山形信之	神久直巳	高野正規	岩埜直史
小林雄一	深谷祐紀	矢島裕久	金田貴人
新保暢	江野浩一郎	児玉晶香	井澤克行
近本彰	大村文孝	松井直樹	藤田隆司
西島義典	井上哲	木原哲也	高橋健二
宮崎聖	田伏利久	田中将将	渡部浩二
山本浩之	田口新也	伊藤啓一郎	青木秀夫
渡邊浩司	辻岡英幸	三谷哲生	中野一成
松山度良	濱本昌宏	佐保宏二	横山美和
徳田清信	宮城直人	遠藤信哉	千葉雅也
菅間裕晃	庄司忠男	細貝和司	竹内延和
北野善樹	北村正博	武田知己	木平芳定
今井良広	山崎嘉彦	田部長右衛門	住吉徳彦
荒木健治	西村浩二	渡嘉敷通之	綾部吉也
木塚俊博	北村志帆	瀬戸要	川原恵
田久保真美	遠藤彰		

# 競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

名 誉 会 長	峰 達 郎						
大 会 会 長	岩 城 光 英						
大 会 副 会 長	仲 井 公 哉	飯 島 健 二 郎	川 添 豊	岩 本 真 二			
	伊 藤 浩						
顧 問	青 野 朋 之	高 橋 修 一	三 上 雅 弘	石 川 光 次 郎			
	小 宅 鍊	川 合 正 和	栗 城 春 夫	伊 沢 勝 徳			
	福 嶋 稔	小 平 博	田 島 寧 子	臼 井 正 一			
	今 井 久	中 山 俊 行	大 村 真 人	本 保 正 善			
	田 中 新 一	中 川 忠 昭	富 木 隆 夫	荒 川 勝			
	志 田 剛	國 分 孝 雄	山 田 康 晴	若 山 春 夫			
	田 島 一 成	西 田 昌 司	山 本 富 造	末 松 信 介			
	田 野 瀬 太 道	崎 山 裕 司	山 根 一 朗	新 井 千 尋			
	繁 田 政 男	吉 田 俊 夫	志 賀 光 法	浜 尾 修 身			
	大 山 一 郎	石 田 治	川 崎 寛 典	内 藤 義 之			
	加 納 修 二	吉 村 讓 二	村 上 幸 生	押 川 紘 一 郎			
	浅 野 喜 美 子	池 淵 功 寛	笹 山 茂 成	栗 原 宣 康			
参 与	脇 山 秀 明	脇 山 行 人	宮 崎 美 和	篠 原 智 文			
	石 山 貴 子	佐 伯 玄 一 朗	水 上 勝 義	宮 原 辰 海			
	久 保 美 樹	大 宮 路 美 奈 子	岡 部 高 広	伊 藤 一 之			
	原 雄 一 郎	古 藤 宏 治	江 里 孝 男	青 木 茂			
	中 村 健 一	山 下 壽 次	伊 藤 泰 彦	黒 木 初			
	浦 田 関 夫	吉 村 慎 一 郎	大 西 康 之	石 崎 俊 治			
	進 藤 健 介	熊 本 大 成	檜 崎 三 千 夫	宮 本 悦 子			
	中 川 幸 次	白 水 敬 一	草 野 陽	青 山 泰 三			
	西 山 将 夫	江 頭 雅 彦	中 村 勝	田 中 寿 幸			
	木 下 恵 介	八 島 大 三	岩 熊 真 一	宅 井 宏 文			
	中 山 誠	岩 崎 俊	林 山 弘 美	新 美 紀			
	久 保 田 俊 史	井 上 洋 一 郎	江 畑 芳 幸	牛 島 徹			
	永 田 泰 志	木 原 啓 介	宮 本 克 一	東 福 昌 勝			

渡邊 義浩	宮島 清一	富永 祐司	坂本 金満
渡辺 尚	吉田 善道	山崎 一夫	坂本 直樹
金子 晴信	野田 和成	奥村 豊	小野 史朗
前川 金行	柿塚 晋也		

大会委員長

大塚 眞一郎

大会副委員長

山口 裕

大会委員

岸田 吉史	山倉 紀子	鈴木 貴里代	和田 知子
石井 なおみ	上田 藍	菊池 日出子	齋藤 れい
関根 明子	森 幸	佐藤 圭一	富川 理充
村瀬 訓生	山根 英紀	高谷 正哲	谷 真海
土田 和歌子	原 晋	伊藤 一博	豊岡 正康
大関 辰郎	小田 英男	川添 勝	島津 寿江
宮本 悦子	北村 格一	須山 浩光	秋山 智昭
荻原 政吉	齊藤 栄太郎	古藤 英樹	瀬川 幸子
野中 進	大坪 知恵子	渡邊 啓一	古賀 保隆
佐々原 亮一	田中 寛二	福田 成洋	末次 耕平
宮崎 貴士	山口 大貴	牧瀬 わか奈	荒巻 大成
脇田 達司	岡本 和也	久保 直人	久保 寛美
今泉 喜樹	中野 翔一	八木 恭子	大場 のり子
廣嶋 幸喜			

# 競 技 役 員

2024年9月1日現在  
(順不同・敬称略)

競 技 委 員 長	岩 城 光 英						
競 技 副 委 員 長	村 上 幸 生	川 添 豊					
レースディレクター	小 池 賢						
総 務 委 員 長	関 根 明 子						
総 務 副 委 員 長	山 口 裕						
総 務 委 員	萩 原 舞	内 藤 裕 也					
審 議 委 員 (兼 任)	関 根 明 子	川 添 豊	瀬 川 幸 子				
技 術 統 括	伊 藤 一 博						
統 括 審 判	川 添 勝						
メディカル代表	牛 島 史 雄						
技 術 代 表	瀬 川 幸 子						
男 子 審 判 長	古 藤 英 樹						
女 子 審 判 長	久 保 寛 美						
チーフテクニカル オフィシャル 審 判 員 (スイムチーフ)	長 嶋 政 光						
審 判 員 (ス イ ム)	荒 卷 大 成						
	竹 下 勝 博	久 篠 美 佳	長 寿 美 笑	中 村 義 治			
	山 口 大 貴	井 手 慎 二	澤 井 将 人	渡 邊 哲 也			
審 判 員 (バイクチーフ)	福 田 成 洋						
審 判 員 ( バ イ ク )	村 田 邦 彦	村 山 哲 也	久 保 長 一 郎	林 一 彦			
	村 上 義 勝	森 拓 哉	木 場 晴 紀	豊 村 忠 浩			
	森 拓 人	谷 川 正 史	菊 池 昌 平	一 村 和 也			
	本 郷 浩	平 山 崇	佐 野 堅 二	下 川 昌 樹			
	松 下 浩 教	田 中 秀 男	山 下 丞				
審 判 員 (バイク ラップ管理)	岸 智 子						
審 判 員 (バイク ラップ補助)	木 寺 智 子	清 水 あ ゆ み					
審 判 員 (バイク先導 ドライバー)	田 中 寛 二						
審 判 員 (バイク最後 尾ドライバー)	山 中 良 晃						
審 判 員 (バイク移動 ドライバー)	森 照 裕						
審 判 員 (バイクタ ンデムドライバー)	高 瀬 荘 一						
審 判 員 (乗車ライン)	有 村 雅 美	長 野 直 美	吉 永 利 彦	香 田 岳 之			
審 判 員 (ホイルス テーション)	清 田 健 司	園 田 隆 弘	村 山 智 樹	河 波 裕 二			
審 判 員 (ランチーフ)	久 富 慶 吾						
審 判 員 ( ラ ン )	甲 斐 義 朗	藤 吉 大 輔	新ヶ江 一守	生 田 博			
	前 田 晃	小 松 一 寿	八 木 恭 子	春 口 哲			

	一村 多美代	尾崎 善一郎	岩川 香織	田口 靖洋
	貴島 順治	角 隼人	長谷部 崇	大内 和枝
	大富 直美	一木 祐二	高田 庄一朗	高巢 良一
	小松 眞也	田代 まゆみ		
審判員 (ランラップ管理)	浅野 喜美子			
審判員 (ランラップ補助)	横 道 愛			
審判員 (ラン先導)	宮崎 貴士			
審判員 (ラン最後尾)	亀田 行康			
審判員 (トランジションチーフ)	佐伯 琢也			
審判員 (トランジション)	堀田 克行	羽田野 浩二	荒木 眞代	野口 昭信
	小玉 博	峰 真由美	園田 美紗	内海 佳治
	樋口 英雄	小形 慎一郎		
審判員 (ランエイド)	加納 修二	森田 千恵美	南 安都子	山口 政芳
	藤吉 千華			
審判員 (ペナルティBOX)	清水 小百合	松本 清和	内海 由加里	
審判員 (フィニッシュエイドチーフ)	西 知 美			
審判員 (フィニッシュ)	原田 昌美	佐々原 亮一	中野 彰子	北畑 まゆみ
	渡邊 啓一	野中 進	大川 富子	
審判員 (レジストレーションチーフ)	大場 のり子			
審判員 (レジストレーション)	高尾 明子	畑津 明子	池田 美栄	瀬戸 友子
	辰市 亜矢子	山本 順子		
審判員 (アスリートラウンジチーフ)	古賀 千寸			
審判員 (アスリートラウンジ)	長岡 フクヨ	今村 翔一	折居 舞子	八田 準一朗
計測記録委員	脇田 達司	田代 実美	佐久間 宏美	
救護委員	諸江 一男	八次 浩幸	前田 健二	森田 佳鈴
	宮本 真希	古賀 里美		
補給委員	服部 隆行	岸田 年弘	末次 耕平	
放送委員	辻 信浩	乾 啓幾		
輸送・駐車場委員	小畑 政光			
交通規制委員	原田 雄二	竹中 英		

## 競技補助員

エイドステーション 唐津市立海青中学校3年生の皆様

## 御協力をいただいた皆さま

(順不同・敬称略)

警 察 唐津警察署

消 防 唐津市消防本部

おもてなし サザエのつぼ焼き売店の皆様

## 競技会係員

唐津市実施本部職員一同

## 競技会補助員

唐津市ボランティア一同

